

編修趣意書

教育基本法との対照表

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-4	小学校	国語	国語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	国語 107/ 国語 108	こくご一上 かざぐるま / こくご一下 ともだち		

1. 編修の基本方針

「心を、動かす。言葉が、動かす。」

子どもたちは、予測困難な社会の中で、さまざまな変化に主体的・積極的に向き合い、他者と協働しながら課題を解決していくことが求められています。この教科書で学ぶ子どもたちが、未来社会を切りひらき、強く生きていくための言葉の力と豊かな感性を身につけられるよう、また、確実な力の習得を子どもたち自らが実感し、国語を学ぶ達成感や充実感につなげていけるように、次のことを基底において編修しました。

1 確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのかが、ひと目で分かる教科書です。

小学校での国語学習の始まりです。1年の教科書全体を基礎・基本を学ぶ場と考え、学習指導要領の「三つの柱」の考え方を入れ込んだ形で教材化を図りました。子どもたちは楽しみながら言葉を増やし、国語の力を着実につけていきます。

2 言葉の豊かさ、論理的思考力と感性を培う

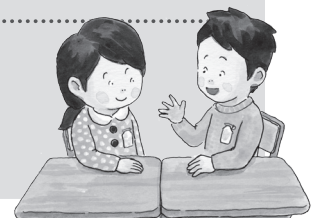
—— 言葉を増やししながら、言葉に親しんだり、言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

子どもたちが、言語文化や言葉に興味・関心をもてるよう、優れた作品・文章を多数用意するとともに、語彙を豊かにし、思考力を育て、自分の表現にいかしていけるような教材・資料を設けました。

3 国語の学びを、多方面へ広げ、深め、つなげる

—— 言葉を通して「学ぶこと」の楽しさと、人とつながる喜びを実感できる教科書です。

国語で学んだことを、国語の学習や教科書の中だけに閉じることなく、自分で整理したり、考えたり、発信したりすることで、身につけた力をさらに強化し、生きる力に大きく転化していけるようにしました。



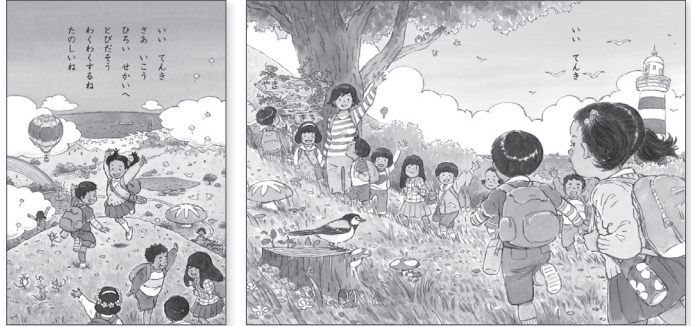
1

確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのかが、ひと目で分かる教科書です。

国語学習への期待感を高め、幼保と小の円滑な連携を補完する教材を用意しました。

- 第一教材「いい てんき」には、子どもたちが思わず指し示し、言葉にしたくなる数多くの場面が展開しています。人と関わり、対話し、つながっていく初めての機会を、言葉と親しみやすいイラストで支えます。



1上「いい てんき」

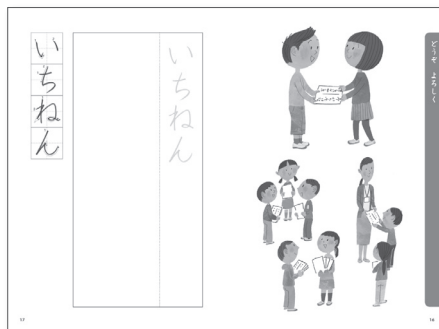
- スタートブック「さあ はじめよう」では、等身大の子どもたちが、学校で友達や先生とふれあう現実的な場面を取り上げています。幼稚園や保育所を離れ、小学校での国語学習が始まる時の不安を取り除くとともに、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の基礎・基本を楽しみながら学び、身につけることができる教材です。学習が進んでいくときに、いつでもこの場に戻って基本を確認することができます。



この扉を開くと、国語学習の基本を学ぶ、七つの教材が始まります。

1上「さあ はじめよう」扉

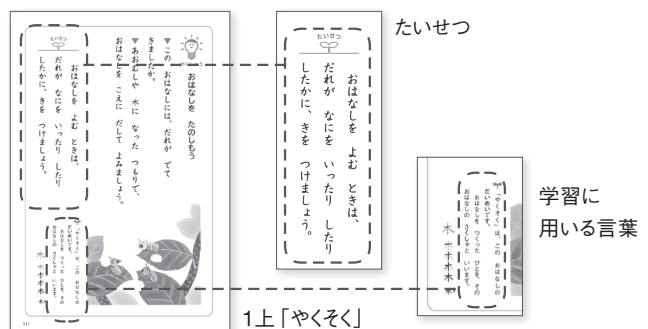
- 国語学習の基礎・基本となる文字や言葉のきまりについては、一つ一つの教材で段階を追って系統的に学習します。全ての子どもたちが着実に平仮名を習得できるよう、夏休み前までを「平仮名習得期」として教材を配列しています。



国語の時間に初めて書く文字は、自分の名前です。それを、友達と交換し合います。

1上「どうぞ よろしく」

- 1年の「がくしゅう」(手引き) は、子どもたちが読むことの学習負担を感じることなく、自然に力を獲得できるようにゆとりある紙面で構成しています。また、3領域の単元では、そこでつけるべき力を確認し、確かな国語の力とするための「たいせつ」を新設しました。



1上「やくそく」

2

言葉の豊かさ、論理的思考力と感性を培う

—— 言葉を増やしなが、言葉に親しんだり、言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

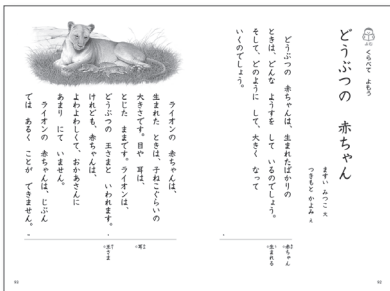
思考や表現の助けとなる教材や、言葉・語彙にふれる場を数多く設定しました。

[文学・説明的な文章]

- 「読むこと」を楽しみながら、物語の奥深さを感じることでできる文学作品や、論理的思考力の基礎・基本となる、確かな構成の説明的な文章を位置づけました。

[言葉を学ぶ教材]

- 文型は「主語・述語」の文、「主語・修飾語・述語」の文のように、教材ごとに段階を追ってステップアップしていきます。子どもたちの学習意欲をいかしなが、繰り返し学習することで着実に身につくように教材を構成しました。



1下「どうぶつ 赤ちゃん」(比べなが読む) 1上「やくそく」(お話を楽しむ)



1上「ぶんをつくろう」(主述の整った文を書く)

3

国語の学びを、多方面へ広げ、深め、つなげる

—— 「学ぶこと」そのものの楽しさと、人とつながる喜びを実感できる教科書です。

「国語」で学習したことを、他教科や日常生活の場面と結び付けていかせる場を設けました。

[他教科等との関連]

- 話題・題材は、「生活科」「体育」「道徳」など、他教科との関連が図れるように広く選定しています。また、学級生活・学校生活や日常の生活場面からも題材を集め、子どもたちが必然性をもって教材に臨めるよう工夫しています。
- 1年下巻最終ページに「ひょうしょうじょう」を設けています。子どもたち自身が1年間を振り返り、達成感を感じられるように、また、次学年への期待を込めて、自分への表彰状を贈ります。

[情報の扱い方に関する教材]

- 学習指導要領で新設された「情報の扱い方」について分かりやすく教材化しました。共通点と相違点を比べるなど、低学年における情報の扱いについての的確に理解し、自分の考えを形成する基盤となるよう教材を構成しました。



1下「しらせたいな、見せたいな」
(生活科との関連)



1下「ひょうしょうじょう」
(自分の成長の振り返り)



1下「どうぶつ 赤ちゃん」
(表を用いなが、違いを比べる)

2. 対照表

[第 1 学 年]

図書 の 構 成 ・ 内 容	特 に 意 を 用 い た 点 や 特 色	該 当 箇 所	
上 巻	入門期第一教材「いい てんき」	友達や先生、自然とふれあう絵物語「いい てんき」を通して、豊かに想像を広げることや、他者と関わる心を育てます。【第一号】【第三号】	表2-8
	スタートブック「さあ はじめよう」	「さあ はじめよう」の教材群を通して、幼稚園や保育所での体験的な学びを小学校での国語・言葉の「学習」へと円滑に接続します。【第一号】	9-25
	継続活動「つつけよう」	帯単元として活用できる教材「つつけよう」を位置づけました。継続的に取り組むことで、想像を広げたり、他者と関わったり、語彙を広げたりすることの楽しさを感じることができます。【第一号】	26-31、 98-103
	言葉の特徴や使い方	言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記のきまりなどを知り、身につけることができます。【第一号】	42-43、 46-47、 50-51、 60-61、 62-65、 80-81、 112-113、 120-123
	情報の扱い方	海の生き物に関する説明文「うみの かくれんぼ」で、事柄がどのような順序で説明されているのかを捉えながら読むことを通して、論理的に考える力を育てます。【第一号】	114-119
	我が国の言語文化	「としょかんへ いこう」「としょかん と なかよし」で図書館を活用する際の注意点を知ることを通して、公共心を育てるとともに、図書館を活用しようとする態度を育てます。【第三号】	40-41、 94-95
	話すこと・聞くこと	因果関係を論理的に話す「わけを はなそう」や、他者からの質問によって伝えたいことをはっきりさせ、みんなに伝える「すきな もの、なあに」を通して、自他を尊重する心を育てます。【第三号】	48-49、 82-85
	書くこと	主語と述語の整った一文を書く「ぶんをつくろう」を通して、文の基本的な構造を学びます。【第一号】	44-45
		植物の観察記録を書く「おおきくなった」、自分の好きなものを友達に紹介する「すきな もの、なあに」、体験したことを絵と文章で伝える「こんなことがあったよ」を通して、生命や自然を愛する心や、他者をよりよく理解し互いに尊重し合う心を育てます。【第二号】【第三号】【第四号】	66-67 82-85、 96-97
	読むこと（説明的文章）	生き物の体の特徴や生態を取り上げた「くちばし」や「うみの かくれんぼ」を通して、科学的なものの見方や論理性、生命・自然を大切にすることを育てます。【第一号】【第四号】	52-59、 114-119
読むこと（文学的文章）	登場人物の行動と季節の移りを楽しめる「はなの みち」や、登場人物たちが広い世界を知る「やくそく」を読むことを通して、豊かな情操を育みます。【第一号】	32-39、 104-111	
	ロシア民話「おおきな かぶ」や、日本の昔話「おむすび ころりん」を音読したり動作化したりすることを通して、我が国の文化を愛する心や、他国の文化に親しみをもつ心を育てます。【第五号】	68-79、 86-93	
付録	本編と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。【第一号】	124-132	
下 巻	継続活動「つつけよう」	帯単元として活用できる教材「つつけよう」を位置づけました。継続的に取り組むことで、想像を広げたり、他者と関わったり、語彙を広げたりすることの楽しさを感じることができます。【第一号】	68-73
	言葉の特徴や使い方	言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記のきまりなどを知り、身につけることができます。また、言葉に関する特設単元「ものの 名まえ」を通して、上位語・下位語の概念を知り、適切に言葉を活用しようとする態度を育てます。【第一号】	21,24-27、 36-37、 56-61、 64-65、 86-87、 88-91、 118-119
	情報の扱い方	説明文「じどう車くらべ」や、書くこと教材「じどう車ずかんをつくろう」を通して、事柄の順序に気をつけて読んだり書いたりし、論理的に考える力を育てます。【第一号】	28-32、 33-35
	我が国の言語文化	早口言葉などを取り上げた「ことばを たのしもう」や、日本の昔話「わらしべちょうじゃ」を通して、我が国の文化を愛する心を育てます。【第五号】	22-23、 62-63
		外国の昔話を取り上げた「むかしばなしを よもう」「おかゆの おなべ」を通して、他国の文化に親しみをもつ心を育てます。【第五号】	42-55
	話すこと・聞くこと	対話を通して友達のことを知り、他者に紹介する「ともだちの こと、しらせよう」や、友達と協力してクイズを作る「これは、なんでしょう」を通して、他者と協力する態度を育てます。【第三号】	38-41、 102-105
	書くこと	生き物の観察記録を書く「しらせたいな、見せたいな」、身近な自動車の作りと働きについて説明する「じどう車ずかんをつくろう」、経験や思い出を書く「いい こと いっぱい、一年生」を通して、個人の尊重や自主・自律の心、生活と関連させる態度を育てます。【第二号】	17-20、 33-35、 120-123
		友達を紹介する文章を書く「ともだちの こと、しらせよう」や、自分の近況などを伝える手紙を書く「てがみで しらせよう」を通して、他者を敬う心を育てます。【第三号】	38-41、 66-67
	読むこと（説明的文章）	自動車の作りと働きについて説明した「じどう車くらべ」を読むことを通して、科学的なものの見方や論理性を育むとともに、自分たちの生活と重ねながら文章を読む態度を育てます。【第二号】	28-32
		肉食動物と草食動物の赤ちゃんとその成長について書かれた「どうぶつ の 赤ちゃん」を読むことを通して、生命を尊び、自然を大切にすることを育てます。【第四号】	92-101
読むこと（文学的文章）	雲のくじらと子どもたちの物語「くじらぐも」や、犬と少年の成長を描いた「ずうっと、ずうっと、大すきだよ」を読むことを通して、豊かな情操を育むとともに、生命を尊重する態度を育てます。【第一号】【第四号】	4-16、 106-117	
	民話「たぬきの 糸車」を読むことを通して、我が国の文化を愛する心を育てます。【第五号】	74-85	
付録	本編と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。また、「ひょうしょうじょう」を設け、子ども自身が1年間の成長を実感できるようにしました。【第一号】【第二号】	124-136	

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学習上の参考に供するための資料

- 教科書の中で、「二次元コード」が示された場所には、学習の参考として、内容をさらに深めたり、興味・関心を高めることにつなげたりする資料を豊富に収めました。

生涯にわたる読書に親しむ工夫

- 教科書での学習と関連させながら、さまざまな角度から本に親しむ態度を広げられるよう、読書単元を設定しました。図書館や展示コーナーのイラストを豊富に掲載し、読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基盤となるよう工夫しています。
- 本を紹介するための「この本、よもう」では、実際の本の表紙写真を掲載し、子どもたちの興味・関心を高められるよう工夫しています。

漢字学習への配慮

- 低学年では、全ての音訓について、提出されるたびに学べるようにしています。文脈の中で自然に学べるため、子どもたちの漢字学習の負担を減らします。

特別支援教育への配慮

教科書のユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザイン（色覚特性）と、学習上支援が必要な児童のために、特に次の観点に配慮しています。

- 教科書の全てのページについて、専門家の校閲を受けています。
- 本文には、教科書のために特にデザインした自社開発の教科書体を用いています。この書体は、美しく読みやすいのと同時に、書き文字に近いため、書いて学ぶ低学年の子どもたちに正しい字形を意識させることができます。
- 特に、「文字の形を意識して読み、物事を理解する部分大きい」低学年には、書体を通常よりも太くしたものを使用し、「見やすさ」を重視しています。子どもたちが、一文字一文字確かめながら読むことを助け、内容を認識しやすくしています。
- 全学年を通して、図書紹介のページのように文字がやや小さい提出の教材には、読みやすさを強調して作られたUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています。
- 紙面のデザインは、子どもたちの学習のしにくさにつながらないように、特に配色や色調に注意をはらったり、文字と写真、写真と写真との区別が明確になるよう、罫線を入れたりしています。



編修趣意書

学習指導要領との対照表，配当授業時数

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-4	小学校	国語	国語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	国語 107/ 国語 108	こくご一上 かぎぐるま / こくご一下 ともだち		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのが、ひと目で分かる教科書です。

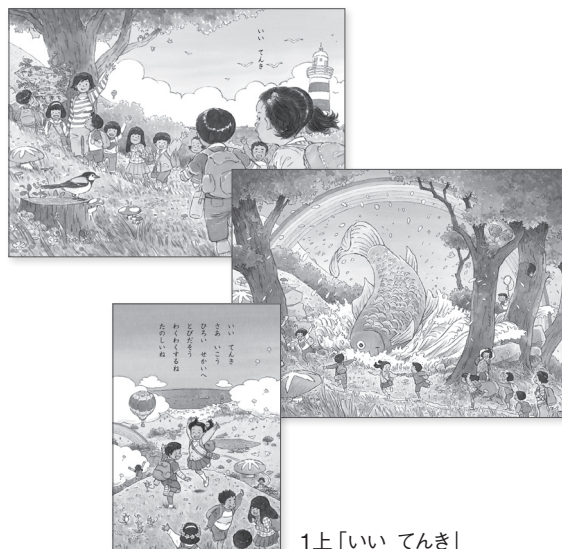
自分の考えを自然に表現できるように、教材化を工夫しました。

[入門期の構成]

- 入学してからの1年間を言語生活・学校生活への「入門期」と位置づけ、子どもたちの現実の生活と学習を有機的に結び付けながら、安心でき、達成感をもって、しかも楽しい導入期間となるよう、次の点に留意しました。

[第一教材 「いい てんき」]

- 小学校生活への不安をなくし、明るく元気な学年びらきができるよう、第一教材「いい てんき」では、子どもたちと等身大の登場人物たちが集まる場面から、楽しい活動を想起させる場面へと五つの画面で展開します。子どもたちは画面の中の物語に沿って、友達と対話をしたり言葉を想像したりしながら、国語学習の扉を開いていきます。



1上「いい てんき」

[スタートブック 「さあ はじめよう」]

- 幼稚園や保育所から離れ、学校社会・学校文化に慣れるよう、国語学習の導入教材として、スタートブック「さあ はじめよう」を設けました。学習の土台作りを、この場でしっかりと行います。先生や友達との「対話場面」を意識的に増やし、小学生になった喜びとともに、学ぶことへの期待感を持続できるように、教材構成を工夫しました。

「さあ はじめよう」

- 【話すこと・聞くこと】 「あつまってはなそう」「なんていおうかな」
「こんなもの みつけたよ」
- 【書くこと】 「えんぴつと なかよし」(書写との関連・鉛筆の持ち方と書く姿勢)
「どうぞ よろしく」(初めて書く名前)
- 【読むこと】 「おはなし たのしいな」(読み聞かせ)
- 【言葉の学習】 「うたに あわせて あいうえお」(五十音の始まり)



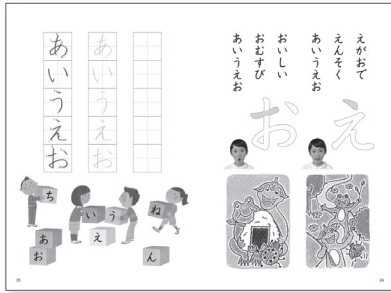
1上「えんぴつと なかよし」

[平仮名習得期]

- 夏休み前までの期間の教材構成をスモールステップの形にすることで、無理なく平仮名を習得できるように配慮しています。思考力・判断力・表現力等の学習活動の中で、意味のある内容が書ける喜び、書いて読んでもらえる喜びを十分感じられるよう、漢字と片仮名を提出せず、平仮名で文を書く活動を積極的に位置づけました。

[帯単元「つづけよう」]

- 学年に3か所、帯単元として活用できる教材を設定しました。長期休みの後、学期初めのウォーミングアップ的な役割を担います。「詩」「スピーチ(対話)」「言葉集め」の教材を位置づけました。



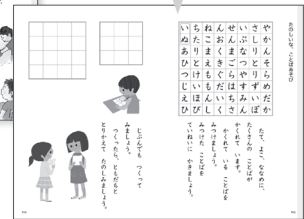
1上「うたにあわせて あいうえお」
(なぞり書きをする、手本を見ながら書く、の2段階で「あいうえお」を書く練習をする)



1上「つづけよう②」
・こえに だして よもう
・ききたいな、ともだちの はなし
・たのしいな、ことはあそび



継続的に取り組むことで、音読や対話の力、語彙の拡充につながります。



「思考力・判断力・表現力等」の単元構成

1年生から確実な国語の力を身につけることを意図して、3領域の教材に「たいせつ」を新設しました。



「話すこと・聞くこと」「書くこと」単元

- 子どもたちの発達段階、学習の習熟度、目的性、必然性を考慮して、多彩な言語活動を系統的に配置しています。子どもたちが親しみやすい、身近な場面から、題材を選びました。



1下「これは なんでしょう」

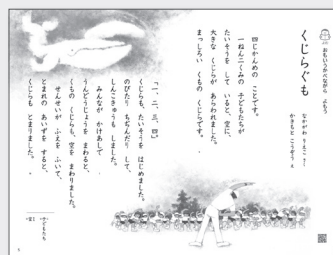


1下「いいこといっぱい、一年生」

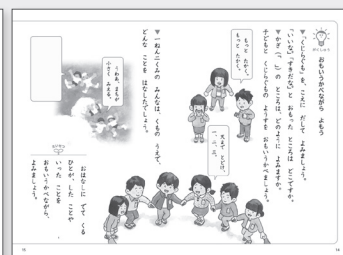


「読むこと」単元

- 「がくしゅう(手引き)」で設定した課題は、学習指導要領の「思考力、判断力、表現力等」の内容に沿って、国語の基礎・基本の力をつけるという観点を考慮し、繰り返し学習することで確実な定着を目指します。
- 作品・文章は、読む楽しさを感じ、イメージを豊かに広げられる挿絵、写真とともに構成しています。



1下「くじらぐも」



2

言葉の豊かさ、論理的思考力と感性を培う

— 言葉を増やしなが、言葉に親しんだり、言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

[言葉の特徴や使い方・漢字に関する教材]

- 言葉のきまりや使い方に関する教材（濁音、促音、長音、拗音、助詞の使い方、五十音など）を上下巻に偏りなく配しています。言葉についての知識の整理と練習学習によって言葉の力が確実に定着するように教材を構成しました。

[読書活動単元]

- 読書に親しみ、いろいろな本があることを知るための教材として、読書単元「本はともだち」を設けました。
- 「この本、よもう」で紹介している図書は、全国の図書館等にかが、推奨価値が高く、子どもたちが手にしやすいものを選定しています。

[我が国の言語文化を学ぶ教材]

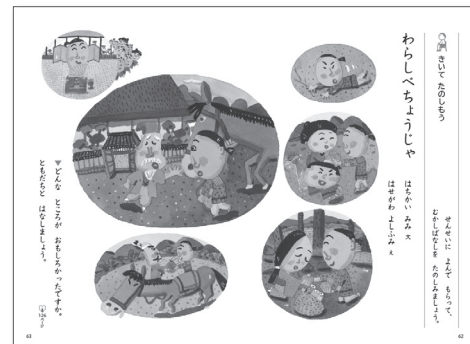
- 長く語り継がれてきた話を読み聞かせて聞く「きいてたのしもう」（昔話）を設けました。語りの文化に触れ、作品世界を豊かに想像する力につながります。
- 地域が育んできた言語文化に親しめるように、「むかしばなしを よもう」（読書単元）を用意しました。



1上「としゃんと なかよし」(本はともだち)



1下「むかしばなしを よもう」(外国の昔話を読む)



1下「わらしべちようじゃ」(昔話の読み聞かせ)

3

国語の学びを、多方面へ広げ、深め、つなげる

— 言葉を通して「学ぶこと」の楽しさと、人とつながる喜びを実感できる教科書です。

[人とつながる言葉の重視]

- 「さあ はじめよう」内の「なんて いおうかな」では、特に、友達どうし声をかけ合ったり自ら助力をしたりする、人とつながる場面を意図的に提出しています。

[付録・学習を深め広げる資料]

- 「この本、よもう」「ひらがなと かたかな」など、他教科や日常生活に広げて活用することができる付録を設けました。
- 教科書の中に「二次元コード」が示してある場所には、子どもたちが学習を進める中の参考となり、さらに教材に興味・関心をもって、深い学びにつなげていける資料を取っています。



1上「なんて いおうかな」

教科書の特徴

編集上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育基本法や学校教育法の理念の踏まえ、特に次の点に意を用いました。 <ul style="list-style-type: none"> ①国語力及び学習の基盤的能力の育成、②コミュニケーション能力の育成、③豊かな心の育成、④情報社会を生き抜く力の育成、⑤社会の変化に対応する能力の育成 ◆学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点で工夫し配慮しました。 <ul style="list-style-type: none"> ①基礎的・基本的な知識・技能と活用力を身につける、②論理的に思考し、表現する能力を養う、③豊かな情操と道徳心を養う、④伝統的な言語文化を尊重し、国語と郷土を愛する心を育成する、⑤個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、自主・自立の精神を養う、⑥読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基礎を養う、⑦社会の形成者たる児童を育成する
2 内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、また、言語活動例がそれぞれの段階で扱えるように教材を選定・作成しています。 ◆各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な力が着実に身につけられるよう、全体を通して系統的に位置づけています。 ◆児童の資質・能力の育成のために、教科横断的な関連を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、カリキュラム・マネジメントに資する内容構成の工夫をしています。
3 配分・配列	<ul style="list-style-type: none"> ◆教科書全体を「単元」「コラム」「特設単元」で構成し、知識・技能の習得・活用・探究が繰り返されながら着実に身につけられるようにしています。 ◆学年の発達段階と学習の持続性を考慮し、単元数に配慮して構成しています。 ◆3学期制、2学期制のどちらにも対応するよう、単元・教材数・領域のバランスを工夫しています。 ◆各学年巻末に、本単元の補充学習・発展学習に資するよう、資料となる教材を掲載しています。
4 教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学年を通じて、発達段階を考慮するとともに、児童の学習意欲を喚起すること、また、社会の形成者としての児童を育成するよう、その道徳的心情や道徳的判断力が育つことに配慮して、内容・題材を選定しています。 【入門期】幼稚園・保育所から小学校への円滑な連携を図れるよう配慮し、児童が学校生活に慣れるとともに、その学習意欲を大事にすることを考えて教材を選定しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・第一教材……小学校生活への不安をなくし、明るく元気な学年開きができるように、児童に身近な世界から豊かな想像の世界へ展開していく5場面の美しい絵を用意しました。 ・スタートブック……幼稚園・保育所と小学校の学習をつなぐ場として「さあ はじめよう」を設定しました。国語学習の基礎作りをこの場で確実に行います。 ・平仮名習得期……特に夏休み前までを「平仮名習得期」として数多くの言葉にふれる教材を位置づけ、段階を追って無理なく平仮名を習得できるように配慮しています。 ・児童の言語環境と発達段階に応じて、読むことに親しみ、内容を想像したり、自分の体験を結び付けて感想をもったりする学習を設定しています。ものの方・考え方を広げたり深めたりできる教材を読み、分かったことや考えたことを共有する場を数多く設けました。 ・学習の手引きには、国語の基礎・基本の力をつける観点から、設問を厳選しています。 ・確実な国語の力の獲得のために、身につける力を確認する場「たいせつ」を設けました。 【話すこと・聞くこと】児童の日常生活、学校生活、学習場面に取材し、「話す・聞く・話し合う」ことの意義が感じられるように、発達段階に即して題材を選んでいます。また、学習活動からその後の振り返りの場に至るまで意図的・計画的に設定しています。 【書くこと】相手と目的の明確な話題・題材と児童がイメージしやすい場を設定することで、書く必要性と必然性を感じ、書く意欲が喚起されるよう工夫しています。また、取材から叙述までの表現過程を具体的に図示するなど、分かりやすく示しています。 【読むこと】児童の言語環境と発達段階に応じて、言葉の美しさが感得できる教材、家族や友人など他者への思いやりを育てる教材、他教科の内容に関連する教材、ものの方・考え方を広げたり深めたりできる教材などを幅広く選定しています。 【言葉の特徴や使い方に関する事項】児童の言語生活や既習教材から素材を取り上げ、学習活動を通して知識を身につけるとともに、言葉に関する興味・関心が深まるよう、教材化を工夫しています。 【情報の扱い方に関する事項】物語や文章の内容から、共通・相違の関係を理解したり、事柄の順序関係を理解したりできるよう、内容を構成しています。 【我が国の言語文化に関する事項】先人の遺産としての言語作品を多く取り上げ、生涯の宝として身につけられるようにしました。
5 地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆話題・題材は、農村漁村・都市などの地域的な偏りを避け、バランスのとれた構成になっています。
6 他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆カリキュラム・マネジメントの必要性を意識し、他教科などとの関連が図れるように、話題・題材の選定において工夫しています。 【生活】1・2年の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材、「季節の言葉」【体育】「おにごっこ」(2年下) ◆学習活動面においても、他教科の学習で活用できるように配慮しています。観察記録表を書く(1年上)
7 文字提出・表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ◆1年では、6月中旬までに平仮名を全て提出し、夏休み前までは習熟を図る期間(「平仮名習得期」として)としています。漢字・片仮名は9月から提出することで、無理なく学習できるように配慮しています。 ◆漢字学習は、言葉の学習であると捉え、前学年漢字及び各学年配当漢字を全て本文中に提出しています。 ◆新出漢字は当該ページ欄外に語として抽出し、読みの負担を軽減しています。また、1教材での提出数を制限し、過重な負担とならないよう配慮しています。 ◆文中に平仮名が多い2年生までは、分かち書きを採用しています。ただし、第2学年中に徐々に通常の文章に読み慣れるよう、「文節による分かち書き—2・3文節まとめた分かち書き—通常の分ちのない書き方」へと段階的に移行しています。
8 挿絵・写真・図・グラフなど	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習内容の理解を助け、児童のイメージを豊かに広げる挿絵・写真を適所に掲げています。また、点字見本のページ(5年)のように、実際に触れて参考にする資料も設けています。 ◆「話す・聞く」「書く」教材や、「読む」教材の手引きなどに、種々の表、マップなどを配し、児童が考えを形成したりまとめたりする技法として活用できるように工夫しています。
9 製本・印刷・活字など	<ul style="list-style-type: none"> ◆製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に、色覚特性に対応するために、支援を必要とする児童が判別しやすい配色・色調に配慮しています。 ◆原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。 ◆本文には、教科書のために特にデザインした教科書体を用いています。読みやすいだけでなく、書き文字に近いため、正しい字形を意識させることができ、文字指導に効果的です。 ◆特に1・2年生では、字形を追って一字一字を確かめながら学習を進める段階であることに配慮し、通常よりも太く読みやすい書体を使用しています。 ◆巻末付録の「この本、よもう」(1年下)、「本の世界を広げよう」(2年上以降)では、教科書体に対応した読みやすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。
10 特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習上支援が必要な児童のために、またユニバーサルデザインという観点から、特に以下の点に配慮しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報のまとまりが認識しやすいように、用語解説や覚えておきたい知識などはマークを付して示す。 ・写真と写真の間を空けたり、線で囲んだりして、境界を明確に区別できるようにする。(1年上「うみの かくれんぼ」など) ・色覚特性に配慮して、色による識別に頼ることなく、形で識別できるように作成する。また、色を問いとる学習活動を設定しない。
11 幼稚園・保育所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校生活への不安をなくし、明るくスタートできるよう、1年の第一教材においては、児童が友達や先生と交流する場面を取り上げました。続く、「さあ はじめよう」には、幼稚園・保育所の体験をいかしながら、小学校での学びの基本的な姿勢作りを行う教材を位置づけています。
12 その他の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 【言語活動】 <ul style="list-style-type: none"> ◆つけたい力(指導事項)と言語活動を単元冒頭に掲げて、児童が目的をもって学習に臨めるようにし、習得と活用とが滑らかに行えるよう課題を設定するとともに、ここで身につけた力や考えたことが他教科や日常生活で生かせるよう配慮しました。 【学習過程の重視】 <ul style="list-style-type: none"> ◆「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、学習過程を明確にした教材を設定しました。 【読書】 <ul style="list-style-type: none"> ◆読書に対する意欲を高め、読書の幅を広げ、読書を通して思考力や想像力を養うことを目指して、次のような工夫をしています。 <ul style="list-style-type: none"> ・特設単元「本は友達」に、多様なジャンルの作品を位置づけました。 ・各単元の手引き及び各巻末に、学年に適した本の紹介をまとめて、表紙写真とともに提示しました。 ・紹介する本は、人権教育の観点からも吟味し、選定しました。 【言葉の学習】 <ul style="list-style-type: none"> ◆各学年に言葉そのものを対象化して知識を得たり考えたりする教材を位置づけ、児童が言葉の世界の豊かさを体験するとともに、言葉の自覚的な使い手として育つよう配慮しています。 【漢字の習得】 <ul style="list-style-type: none"> ◆漢字学習に関する教材を随所に設け、楽しみながら漢字の知識が身につくようにしています。

2. 対照表

[第 1 学年]

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所	配当時間		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等					取り上げる題材についての観点	
			A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと				
上巻	いい てんき	(1) ア	(1) オ			(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	表2-8	2	
	おはなし たのしいな	(3) エ			(1) エ (2) イ	(ア) 国語に対する関心	10-11	2	
	あつまって はなそう	(1) ア	(1) エ (2) ア			(イ) 伝え合う力	12-13	1	
	えんぴつと なかよし	(3) ウ				(ア) 国語に対する関心	14-15	1	
	どうぞ よろしく	(1) キ	(1) ア・イ (2) ア	(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 伝え合う力	16-17	3	
	なんでも いおやかな	(1) カ・キ	(1) ア (2) ア			(イ) 伝え合う力 (カ) 他人を思いやる心	18-19	2	
	こんな もの みつけたよ	(1) ア・キ	(1) ア			(ア) 国語に対する関心 (イ) 伝え合う力	20-21	2	
	うたに あわせて あいうえお	(1) イ (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	22-25	2	
	こえに だして よもう	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力 (キ) 自然を愛する心	26-27	1	
	ききたいな、ともたちの はなし	(1) ア	(1) ア・ウ・エ (2) ア			(イ) 伝え合う力	28-29	2	
	たのしいな、ことばあそび	(1) オ				(ア) 国語に対する関心	30-31	2	
	はなの みち	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力 (キ) 自然を愛する心	32-39	6	
	としょかんへ いこう	(3) エ				(ア) 国語に対する関心	40-41	2	
	かきと かぎ	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	42-43	2	
	ぶんをつくろう	(1) ウ・カ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	44-45	4	
	ねこと ねっこ	(1) イ・ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	46-47	2	
	わけを はなそう	(1) ア	(1) ア・イ (2) ア			(エ) 論理的に物事を捉える力	48-49	2	
	おばさんと おばあさん	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	50-51	2	
	くちばし	(1) カ・ク			(1) ア・ウ (2) ア	(エ) 科学的、論理的に物事を捉える力	52-59	8	
	おもちゃと おもちゃ	(1) イ・ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	60-61	2	
	あいうえおで あそぼう	(1) ウ・オ (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	62-65	3	
	おおきくなった	(1) オ		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	66-67	4	
	おおきな かぶ	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 言語感覚 (コ) 世界の風土の理解	68-79	6	
	はをへをつかおう	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	80-81	3	
	すきなもの、なあに	(1) ア	(1) ア・イ (2) ア	(1) ウ (2) イ		(オ) 生活を明るくする意志	82-85	7	
	おむすび ころりん	(1) ク (3) ア			(1) イ (2) イ	(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解	86-93	5	
	としょかんとなかよし	(3) エ				(ア) 国語に対する関心	94-95	2	
	こんなことがあったよ	(1) ア		(1) ア・オ (2) イ		(オ) 生活を明るくする意志	96-97	6	
	こえに だして よもう	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	98-99	2	
	ききたいな、ともたちの はなし	(1) ア	(1) ア・ウ・エ (2) ア			(イ) 伝え合う力	100-101	2	
たのしいな、ことばあそび	(1) オ				(ア) 国語に対する関心	102-103	2		
やくそく	(1) ク			(1) イ・エ (2) イ	(イ) 想像力 (キ) 自然を愛する心	104-111	8		
かたかなを みつけよう	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	112-113	2		
うみの かくれんぼ	(1) カ (2) ア			(1) ア・ウ (2) ア	(エ) 科学的、論理的に物事を捉える力	114-119	8		
かずと かんじ	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	120-123	4		
下巻	くじらくも	(1) ウ・オ・ウ			(1) イ・エ (2) イ	(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	4-16	8	
	しらせたいな、見せたいな	(1) ア・ウ・ウ		(1) ア・ウ・エ (2) ア		(カ) 生命を尊重する心	17-20	10	
	ましがいを なおそう	(1) ウ・ウ		(1) エ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	21	2	
	ことばを たのしもう	(1) イ (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	22-23	2	
	かん字の はなし	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	24-27	6	
	じどう車くらべ	(2) ア			(1) ア・ウ・オ・カ (2) ア	(エ) 論理的に物事を捉える力	28-32	7	
	じどう車ずかんをつくろう	(1) ア (2) ア		(1) イ (2) ア		(エ) 論理的に物事を捉える力	33-35	5	
	かたかなを かこう	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	36-37	2	
	ともたちの こと、しらせよう	(1) オ	(1) ア・エ (2) イ	(1) ウ・オ (2) ア		(イ) 伝え合う力	38-41	6	
	むかしはなしを よもう	(3) エ		(1) ア・ウ		(コ) 世界の風土や文化などの理解	42-55	8	
	おかゆの おなべ				(1) カ (2) イ				
	ものの 名まえ	(1) ア・オ	(1) オ (2) イ			(ウ) 適切に判断する能力や態度	56-61	6	
	わらしべちようじゃ	(3) ア			(1) カ (2) イ	(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解	62-63	1	
	日づけと よう日	(1) エ・オ		(1) エ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	64-65	3	
	てがみて しらせよう	(1) ア・キ		(1) ウ・エ (2) イ		(オ) 生活を明るくする意志	66-67	6	
	こえに 出して よもう	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力	68-69	2	
	ききたいな、ともたちの はなし	(1) ア	(1) ア・ウ・エ (2) ア			(イ) 伝え合う力	70-71	2	
	たのしいな、ことばあそび	(1) オ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	72-73	2	
	たぬきの 糸車	(1) オ・ウ			(1) イ・エ (2) イ	(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解	74-85	8	
	かたかなの かたち	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	86-87	3	
	ことばを みつけよう	(1) ア・ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	88-91	6	
	どうぶつの 赤ちゃん	(2) ア (3) エ			(1) ア・ウ・カ (2) ウ	(エ) 科学的、論理的に物事を捉える力	92-101	10	
	これは、なんでしよう	(2) ア	(1) ア・オ (2) ア・イ			(ウ) 適切に判断する能力や態度	102-105	4	
	ずうっと、ずっと、大すきだよ	(1) オ・ウ			(1) エ・カ (2) イ	(カ) 生命を尊重し、他人を思いやる心	106-117	8	
	にている かん字	(1) エ				(ア) 国語に対する関心	118-119	3	
	いい こと いっぱい、一年生	(1) ア		(1) ア・イ・エ・オ (2) ア		(オ) 生活を明るくし、強く生きる意志	120-123	10	
	合計時間							244	